

# お知らせ

令和6年11月1日

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院  
病院長 篠田 淳

中部脳リハビリテーション病院では下記の要領で臨床研究を予定しています。

- 研究題名** 慢性期重症頭部外傷患者における脳画像変化の特徴
- 目的** 重症頭部外傷患者の慢性期変化について調査し、特徴や意識レベルの変容との関連を明らかにする。
- 対象** 2003年1月1日から2024年9月30日の間に中部療護センターに入院した患者
- 方法** 患者背景と臨床経過、当院で施行した検査結果（採血検査、画像検査、心理検査、生理検査など）を収集し長期的な慢性期変化について後方視的に調査、解析する。それらの臨床経過と検査結果との関連を検討する。
- 人権擁護** ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行います。
- 研究代表者** 今井直哉（中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター 脳神経外科）

中部脳リハビリテーション病院では患者様より得られた検査データを研究に使用することがある旨、院内に掲示しています。院内に保管してあるこれらの患者データを使用する研究を行う場合には、その都度、具体的な研究の概略を示し改めて研究に関わる患者データ使用に関するお知らせを行うことにしています。本研究(上記)では2003年1月1日から2024年9月30日に中部療護センターに入院された患者様の入院中の経過や、検査結果のデータを使用致します。

この件につきまして疑義がございましたら令和7年1月31日までに下記までお申し出ください。

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院  
事務長 坂下 重吾